キャラクター名	プレイヤー名
冬坂　実（トウサカ　マコト）	

シンドローム	オルクス / サラマンダー	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	研究者
オプショナル	モルフェウス	年齢	28歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	29 %
出自	結社の一員	経験	裏切り	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0			3
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	3	0	0			3

HP	28
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	3	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷炎の剣	白兵	3r+1	6	8（20）		（）内は《地獄の氷炎》の使用時
		-2		20		(マイナーコンボ)：《氷炎の剣》＋《地獄の氷炎》
【ホワイト・スペース】		-2		16【36】		(メジャーコンボ)：《CR：サラマンダー》＋《フレイムタン》＋《ギガンティックモード》＋《砂は砂に》　【】は《オーバーロード》使用時

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：　0　合計回避：　0

所持品	
コネ：情報収集チーム	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
母親	P　懐旧	N　憎悪		
ミィ	P　純愛	N　不安		
デコスケ	P　庇護	N 無関心		
クールヘッド	P　傾倒	N　脅威		
メスガキ	P　庇護	N 無関心		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　12　残り財産P：　10

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
CR：サラマンダー	2							
効果：								
氷炎の剣	2							
効果：								
地獄の氷炎	4							
効果：								
フレイムタン	1							
効果：								
オーバーロード	1							
効果：								
ギガンティックモード	1							
効果：								
先陣の火	2							
効果：								
砂は砂に	1							
効果：								
妖精の手	2							
効果：								
砂の加護	2							
効果：								
急速分解	1							
効果：								
凍結保存	1							
効果：								
効果：								

【トオサカ　マコト】

１４年前からＵＧＮ日本支部所属している研究員。ＵＧＮと言う組織で自分の研究を行えるくらいには優秀であるのだが言葉づかいが乱暴であったりするせいで、人望が無く部下の数は常に少ない（多くの人員が入っては移動してを繰り返している。）今回、冴塚市に自分で行くのも、遠征の経験のない新米の部下ばかりで、自分で行った方が確実つだし色々やり易いから。
性格も落ち着きがなく少し直情的。ジャームを「能力の制御もロクにできない阿呆」と笑った上司を殴り飛ばして拘束されたことがあり、ＵＧＮ内での評判はすこぶる悪い（上からも毛嫌いされている）。
素性もあまりハッキリとせず、両親の事が嫌いという程度しか分からない。しかし、霧谷だけは彼を陰ながら後押ししている。

ＵＧＮで今している研究は「不死性の強いジャームやオーヴァードからその能力を欠落させる方法」。成功例は幾つか上がっているにも関わらず彼はいつもその結果の全てを「失敗だ」と言っている。このことには、彼が時折口にする「ミィ」と呼ぶ何かが関係しているらしい。
たまにエージェントとして任務に出るがほぼ全て、支部と離れた場所に個人でセーフハウスを借りている。

【能力】
研究者ではあるが、能力は戦闘向きで殺傷能力が高い。
一見、一般的な氷使いのサラマンダーシンドロームと同じように大気を凍らせ敵を攻撃しているようだが、彼の氷に覆われたモノはたちまちの内に腐食され分解される（生物はもちろん金属も）。
うまく制御すれば通常のサラマンダーシンドロームと同じ能力運用も可能なので、普段はそれで戦っている（必要がある場合のみ物を腐らせる）。

「俺は俺の事をして、アンタらはアンタらの事をする。つまりは”いつも通りの仕事”でいいんだよ。・・・、分かりやすく言ってやる、俺の詮索ははウゼェからすんな！」